

公益社団法人
薬剤師認定制度認証機構 御中

認 証 更 新 申 請 書

認証申請者 _____

認定制度名 _____
(認証番号)

更新申請書提出日 令和 年 月 日

下記自己評価報告書を添え、認証の更新を申請します。

自己評価報告書

本報告書は、「薬剤師生涯研修プロバイダー評価基準チェックリスト」全項目に対応しております。
*印のついたオプション項目は、生涯研修認定制度については要求項目ではありませんので、該当がある場合にのみご記入ください。

各項目の自己評点は、A：「優れている」、B：「基準をクリアしている、標準的である」、C：「改善の必要がある、改善検討中」、D：「問題がある、実施していない、必要がない」としてお付けください。
コメント欄には具体的な内容をお書きください。また必要に応じて資料を添付してください。

	評価の項目： 評価の視点(代表的な例)	評 点	コメント
事業の目的・構想			
1	目的・構想	/	新規申請時に記載。
事業の実施母体(組織・運営)			
2	実施母体の性格： 非営利、中立で社会的に信頼されている組織であるか (非営利、中立の根拠を記載のこと)		
3	母体運営のよりどころ： 定款、寄付行為、規定に基づいて独立した運営がされて		

	いるか（独立性の根拠を記載のこと）		
4	運営の責任体制： 責任者、運営体制が明確になっているか		
5	運営に関する広報： 事業が適切に運営され、ホームページ等に内容が公開されているか（広報の手段を記載のこと）		
事業の全体像（方針・体制等）			
6	企画決定機関： 事業の企画・運営の決定を行う委員会が設置されているか		
	各委員会における外部委員の割合は妥当であるか		
7	事業実施上の諸規定： 事業の実施要綱（実施規定）、細則が定められており、内容が適切であるか（諸規定が変更されていれば添付のこと）		
8	責任体制： 事業の実施責任者は適任であるか、連絡先が明確になっているか		
9	研修・認定の対象： 研修提供と単位付与は、すべての薬剤師に対して門戸が開かれているか（事業の門戸開放・公開性）		
10*	共同運営： 事業を他の組織と共同で行うか、部分的に他の組織に委ねる場合はその妥当性（営利団体と共同で行う場合はあるか、その場合の独立性）		
11	これまでの実績： 研修の提供、単位の付与、認		

	定証発給数等に関するこれまでの実績は適切であるか、また門戸開放・公開性の観点から外部受講者数は妥当であるか (更新までの実績について詳しい資料を添付のこと)		
12*	事業内容の特徴： 事業内容に何らかの特徴があるか		
13*	地域的な特徴： 地域的に見た存在価値等、特徴があるか		
14	人的配置： 事業活動の担当者、事務取扱者等の数、配置は妥当か		
15	財政状況： 事業継続について財政的に不安はないか(直近の収支報告書等を添付のこと)		
研修制度の実施内容			
16	研修の形態： 提供する研修の形態・方法は適切か		
17	研修課題、講師の選定： 研修課題、講師(指導者)の選定方法、選定結果が適切か (過去1～2年間の研修課題・講師一覧を添付のこと)		
18	研修の事前評価体制： 単位を付与する全ての研修について事前評価の体制があるか(具体的な体制を記載のこと) ただし、他の団体、特に製薬企業・卸企業等の企画した研修は、利益相反を起こす恐れが強いため、それらの研修を事前評価した上で代行・受託の形をとって単位を付与することは、避けられたい		
19	研修プログラム：		

	一定の構想のもとある程度の長期計画が設定されているか		
20	プログラムの質： 研修の質は標準の水準をクリアしているか（標準の水準の根拠を記載のこと）		
21	受講者への付与単位： 研修内容（種類、時間）と付与単位の関係は妥当であるか		
22*	複数水準の設定： レベルの異なるいくつかの研修が提供されているか		
23	研修の事後評価体制： 研修内容の事後評価が行なわれ、研修計画にフィードバックされているか（具体的な体制を記載のこと）		
24	受講経費： 受講料は適切であるか（広く薬剤師に受け入れ可能な額か）		
25	習得度評価： 習得度評価について何らかの試みがあるか（具体例を記載のこと）		
26	受講法、プログラムの広報： 研修の受講法、プログラムの広報が事前に十分なされているか		
27	学習到達目標： 研修受講による到達目標が示されているか（具体例を記載のこと）		
28*	試験・試問等（習得度、研修成果）： 受講者に試験、試問等が行なわれているか		
29	受講者の意見徴収： 研修に対する受講者の感想、クレーム等を把握する方法が明示されているか		

30	テキスト、教材等： 研修用のテキスト等、適切な教材が準備され、使用されているか		
31	研修の実施場所・環境条件： 研修に使用する場所、環境、設備等は適切であるか		
32*	継続学習の推進： 生涯研修の習慣づけのための方策がとられているか		
認定制度の実施内容			
33	認定証の申請手順： 認定証の申請手順が明示されているか		
34	認定の適否評価体制： 認定の適否を判定するシステムは適切か（評価体制を記載のこと）		
35	認定の条件（単位取得基準）： 認定取得に必要な単位数の規定は妥当か		
36*	認定条件（付帯学習）： 特定の学習課題についての単位取得を認定条件としているか		
37	他プロバイダーの単位の取扱い： 他の研修プロバイダーから取得した単位の取扱いが明示されているか		
38	受講記録の方法： 取得単位の記録法（記録簿、手帖、集計票等）が明示されているか、研修の遡及性は確保されているか		
	ポートフォリオによる学習記録を推奨しているか		
39	単位以外の認定条件（団体加入、特定資格）： 認定取得に特定団体への加入、特定団体の与える資格		

	等を要求していないか		
40*	認定条件(試験・試問) : 認定の条件として試験、試問が課せられているか		
41	認定等に関する経費 : 認定および更新のための経費は妥当か		
42	更新の規定 : 認定の更新に関する妥当な規定が定められているか		
	他の研修プロバイダーの認定証更新の取扱いが明示されているか		
43	認定取消し条件 : 認定の取消し条件が明示されているか		
44	個人情報の管理 : 認定証取得者の記録(個人情報の管理等)が適正になされているか		